

同窓会総会

日時*2007年2月17日(土)
会場*広島大学教育学部第1会議室
司会*早崎 淳二(30期)

《会長挨拶》

同窓会会長 西村 清巳

こんにちは。先程は、大塚製薬の大坪先生、それから傳寶先生、有難うございました。毎年この会を皆さんの力で出来ているということにまず感謝したいと思います。学生が企画して多くの方に集まっていたいて、こういう会ができるということ自体、ほんとに素晴らしいことだというふうに常々思っております。それから今年のコートの間、大変良い出来映えでして、私も楽しく読ませていただきました。特にOBの方の情報交換がとても新鮮で、楽しく読めるということが、今年は特に感じました。ですから、ぜひ、OBの方の投稿であれが埋まるくらいの気持ちで頑張ってください。単に支部長が義務として書くのではなくてですね、どっかに釧路湿原に行かれています傳寶先生に、イギリスに行っている佐々木さんになにか書いてもらおう。そういうような白羽の矢を何人も立ててですね、そこに執筆をお願いして、たくさんの情報を取れるように努力してほしいと思います。今年は本当に大変良い出来映えだったと思います。それから現役の皆さん、本当に1年間切磋琢磨して大変良い成績をあげていただきました。引き続き頑張ってください。そういうことをやるのも大事です。しかしベースには、やっぱり苦勞して汗を流して成績という形で残すということが大事。バレーのほうはあまり強くないけどこういう練習会は上手というようなことはいけません。バレーも強くなければいけません。ですからそちらの方も全力投球してほしいと思います。特にあの傳寶先生のように教員でなくても指導者になる機会はあります。ここでバレーをしたことが、後にバレーのコーチをする、そういう場に遭遇する可能性は非常に高いと思いますので、本気でバレーをやってほしいと思います。それは練習さえすれば強くなれるというような本気ではなくてですね、どうい練習の中身をすれば強くなれるかという、そちらの練習方法、戦術、そういうことをしっかり研究して下さい。今、日本のスポーツで休みのない、練習量だけ多くやれば強くなれるという考え方を打破してほしいと思います。練習を時間を限ってやって、しかもその中で能率を上げる、質の高い練習の仕方。これは主にですね、練習方法の問題ではなくて、取り組む人の意識の問題だろうと思うんですね。どのくらい強い意識を持って一つ一つの練習に取り組んでいるかというのが、非常に大きいと私は思うんですが、その辺を含めてですね、週休2日を徹底してやってなお勝てる、そういう練習を考えてほしいと思います。だらだらと長くやるのが強くなる方法ではないということを実績で示して欲しい。広大はちゃんと週休2日で練習しても、西日本大会で優勝する、常にベスト4ぐらいでもってですね、そういうのを言うからには実績で示してほしいというふうに思います。これは大変勝手なお願いかもしれませんが、皆さんの目指す方向として練習の質、練習の意識、というのを強調するのは、今マラソンでも勝てないでしょう、日本、外国のエチオピアとか、アフリカ勢がいつも勝つ、その背景にはハングリー精神があるんですね。今、日本の中でハング

リー精神を求めたってそれは無理です。生活に困る人はそういないんですよ。エチオピアの人は、この大会に勝って、賞金を1,000万もらったから一年間家族を食べさせられる、そういうハングリーな状況の中で彼らは頑張っている。それに匹敵するものを我々の中に持とうと思ったら、なんのためにバレーするのか、なんのために練習するのか、その目的意識の強さ以外にないと思うんですね。しんどいとか、しつうないという時になれば、それは勝てません。そういう中で強い志を持つとく、その意識の強さを実証してほしいと思う。

それからもう一つは、私が最近思ったのは、東海大仰星が、ラグビー優勝しましたね。あのときの監督さんが言っていた言葉が新聞で何回か出ていましたが、自分の所の合宿にいっぱいチームを呼ぶ、その中でなにをするかっていうとどんな指導するか。よそのチームの指導の中身を一生懸命盗む、自分がたくさん蓄える、引き出しをいっぱい作る、そういう状態で子ども達を指導してきた。それで成績をあげてきた。というふうに言っていました。もう一つはその人は、絶対に声を荒げて怒らないということをやっていました。だから、指導方法としてはですね、それは理想なのではないのかと思うんですね。ですから、皆さんも貪欲に書物から学ぶのも良いし、人のやってるのを見て学ぶのも良い。だから、なんの気なしに試合をしない。相手のやること、相手の練習方法、考え方、そういうのを盗む。そういうのも、必要だと思います。現役の皆さんに過大な注文をするんですが、ぜひ良いチームを作って下さい。目的意識のはっきりした。先程、就職の問題、企業から教員になるというような道もあるか、というような話がありましたが、私はそれはいけないと思います。教員になるんなら教員になりなさい。徹底的に自分の目標を追求してほしいと思います。企業に行きたいなら徹底的に企業の目的を追求してほしい。そしてその、目指している過程でですね、やっぱり教員が良いなというような気持ちが出てきたら、その時教員になりなさい。企業に行ってそれから教員になる、そういう中途半端な考えはいけません。全力投球で一つの目的にぶつかった、その過程で、次のことが考えられるんだったら、考える、そういうふうに思います。勝手なことを言いましたが、こういう会を開いてくれたみんなに感謝して挨拶にしたいと思います。

<議題>

第一号議案 2006年度事業報告

男子主将の池田啓介が報告した。今年度の主な成績としては男子は五大学大会18連覇、リーグは春、秋共に1部3位、中四国大会3位、全日本インカレベスト16、女子は五大学大会13連覇、リーグは春、秋共に1部優勝、中四国大会優勝、西日本インカレ準優勝が挙げられる。その他、東西対抗2007の代表に松野梨香(55期)が選出されたことなどが報告され、了承された。

第二号議案 2006年度決算報告

女子会計係の山本葵が報告し、了承された。今年度もたくさんのOBの方々からのご支援によって、バレーボール部及び、バレーボール部同窓会の活動を無事に終えることが出来ました。有難うございました。

第三号議案 会計監査報告

2月4日に八本松中学校において会計監査していただいた会計監査の奥村和幸先生(27期)、信広正夫先生(28期)が総会当日、共に欠席されたため、代理の加治佐大輔さん(51期)に報告していただき、了承された。

第四号議案 2007 年度事業報告

女子新主将の林真衣が報告し、了承された。

第五号議案 2007 年度予算案

女子新会計係の小島かおりが新年度の予算案の報告をし、了承された。

2007 年度会計予算案

日 時:2007年2月17日(土)

会計年度:2006年2月1日~2007年1月31日

広島大学バレーボール部同窓会

<収入の部>	(円)
2006 年度繰越金	235,068
会費・援助金(198名)	900,000
収入合計	1,135,068
<支出の部>	(円)
2007 度同窓会総会研修会諸費	45,000
2007 度同窓会総会報告書作成費	20,000
2007 年度同窓会誌作成費	25,000
登録料・大会参加費	450,000
交通費	400,000
予備費	195,068
支出合計	1,135,068

2006 年度事業報告

(2006年)

4月1日	同窓会総会報告書発行
4月22日~23日	第63回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会
5月6日~7日	男子(岡山、山口、広島)1部3位
5月13日~14日	女子(岡山、山口、広島)1部1位
5月26日~29日	第50回中国四国学生バレーボール選手権大会(岡山) 男子3位 女子1位
6月22日~25日	第32回西日本バレーボール大学男子選手権大会(広島) 決勝トーナメント2回戦敗退
6月22日~25日	第32回西日本バレーボール大学女子選手権大会(兵庫) 準優勝
8月12日~14日	第1回東西インカレバレーボール女子選抜優勝大会(神奈川) 女子11位
8月29日~31日	西日本5学連男女選抜対抗戦2006 音丸龍一郎、井上周二、小川諒子、松野梨香、林真衣 高崎麻菜実、谷優香 男女7名出場
9月9日~10日	第56回中国五大学学生競技大会(山口大学) 男子1位(18連覇) 女子1位(13連覇)
10月14日~15日	第64回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会
10月21日~22日	男子(岡山、山口、広島)1部3位
10月28日~29日	女子(岡山、山口、広島)1部1位
11月3日	第11回浅野杯小学生バレーボール大会(広島大学)
11月18日~19日	第6回広島県バレーボール大学選手権大会(広島) 男子3位 女子1位
12月4日~10日	第59回全日本バレーボール大学男子選手権大会(東京) 決勝トーナメント4回戦敗退
	第53回全日本バレーボール大学女子選手権大会(東京) 決勝トーナメント3回戦敗退
12月16日~17日	東西対抗戦2006(愛知) 松野梨香 出場
12月23日	コートの間(第17号)発行
(2007年)	
2月17日~18日	指導者研修会、同窓会総会、強化練習会の開催

2006年度会計決算報告

2007年2月17日(土)
 会計年度 2006年2月1日～2007年1月31日
 広島大学バレーボール部同窓会

<収入の部>	(円)
2005年度繰越金	202,708
会費・援助金	880,230
2006年度同窓会総会・強化練習会収入	57,900
収入合計	1,140,838



<支出の部>	(円)
2006年度同窓会総会研修会諸費	44,007
2006年度同窓会総会報告書作成費	16,734
2006年度同窓会誌作成費	21,175
登録料・大会参加費	445,870
交通費	372,984
体育会結会 会費等	5,000
支出合計	905,770

<差引残高> (円) 235,068

現金、帳簿、領収書及び通帳を照合した結果、正確に処理されていることを確認しました。

平成19年2月4日

会計監査

奥村 和幸 
 信広 正夫 

2006年度会計決算報告内訳

日 時: 2007年2月17日(土)
 会計年度: 2006年2月1日～2007年1月31日
 広島大学体育会バレーボール部同窓会

<収入の部>	(円)
2005年度繰越金	202,708
会費・援助金(198名)	880,230
2006年度同窓会総会・強化練習会収入	
強化練習会炊き出し費	57,900
(高校生 300円×172名・学生 300円×21名)	
収入合計	1,140,838

<支出の部>	(円)
2006年度同窓会総会研修会諸費	
昼食代	2,730
お茶代	6,451
切手代	890
文具代	1,198
炊き出し費	32,738
2006年度同窓会総会報告書作成費	
封筒・紙・文具代等	16,734
2006年度同窓会誌作成費	
封筒・紙・文具代等	21,175
登録料・大会参加費	
大会参加費・登録料等	440,800
振込手数料	5,070
交通費	372,984
体育会結会 会費等	5,000
支出合計	905,770

<差引残高> (円)
 (収入合計) 1,140,838 - (支出合計) 905,770 = 235,068

2007年度事業計画（案）

2007年度の役員名簿

(2007年)

4月上旬	同窓会総会報告書発行
4月21日～22日	第64回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会（山口）
4月28日～29日	同大会（岡山）
5月12日～13日	同大会（広島）
5月26日～28日	第51回中国四国学生バレーボール選手権大会（岡山）
6月21日～24日	第33回西日本バレーボール大学男子選手権大会（兵庫）
6月28日～7月1日	第33回西日本バレーボール大学女子選手権大会（広島）
7月15日～16日	第2回東西インカレバレーボール女子選抜優勝大会
8月28日～30日	西日本5学連男女選抜対抗戦2007（大阪）
9月1日～2日	第57回中国五大学学生競技大会（岡山大学）
10月6日～7日	第65回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会（岡山）
10月13日～14日	同大会（広島）
10月20日～21日	同大会（山口）
10月27日～28日	第1回天皇杯皇后杯ブロック決定戦（猫田記念体育館）
11月3日	第12回浅野杯小学生バレーボール大会（広島大学）
11月17日～18日	第7回広島県バレーボール大学選手権大会（広島）
12月10日～16日	第60回全日本バレーボール大学男子選手権大会（東京） 第54回全日本バレーボール大学女子選手権大会（東京）
12月下旬	コート仲間（第18号）発行
12月22～23日	東西対抗戦2007（愛知）
(2008年)	
2月	指導者研修会、同窓会総会、強化練習会の開催

会長	竹井 秀行（20期）	幹事	福永 積（14期） 沼田 敏子（20期）
副会長	宮本 賢一（22期） 奥村 和幸（27期）		池内 裕二（25期） 篠原 一洋（30期） 平木 一史（35期）
会計監査	信広 正夫（28期） 関野 貴樹（47期）		三宅 理子（40期） 大信 寿洋（45期） 友松 宏之（50期）
		会計	小島かおり（58期生）